

1月8日（木） 3学期始業式の話

はじめに、新年のごあいさつをしましょう。

「あけまして おめでとうございます」

今年は、「午年」です。「午」は「うま」のことですね。

午年の「午」という字、普段はあまり「うま」と読まない漢字なので、この「午」という字について調べてみました。

まず、子丑寅卯‥という十二支は、方角を表すことがあります。「午」は、南の方角の漢字ということです。また、太陽が真南にあるときが、昼の12時に当たることから、昼の11時から1時までを「午の刻（うまのこく）」と言います。そして12時ちょうどを「正午」というのは、今でも使う言葉ですね。

そして、午には、「陰陽が交差する（逆転する）地点」という意味もあるそうです。そういうことから、大きく変わる、変化することにチャレンジする1年にしていきたいと考えましたが、みなさんはどうでしょうか。

大きく変わると言いましたが、学校の1年は、3月まで続きます。ですから、まだ、120周年の年ということになります。

12月6日に、創立120周年記念式典を行い、みんなとても元気な歌声を聴かせてくれましたが、その日の午後に、地域の方々とのお祝いの会も行いました。そこでは、お神輿をかついでお祝いをしたのですが、そのおみこしに、千束小学校の「駒札」「弓張提灯」が付いていて、「拍子木」で手締めをしました。この「駒札」

「弓張提灯」「拍子木」は、いつも色々な所でお手伝いをしてくださっている、千束スクールソポーターの方と、120周年記念行事実行委員会の方が作って下さり、学校に寄贈していただきました。

せっかくいただいたので、児童の皆さんにも見てもらいたいと思っています。そこで、しばらくの間、校長室の前に飾っておきます。「駒札」と「弓張提灯」は触らないで見るだけにしてください。「拍子木」は音をならしてみてもいいですが、とても大きな音がしますので、中休みと昼休みだけにしましょう。どんな音がするか、楽しみですね。

また、今日から、2年生に新しいお友達をお迎えします。みんな、仲良くしましょう。

